



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第69号

発行 北海道幌延町議会

編集 議会報発行特別委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

第4回 定例 幌延町議会

9月12日・13日

お	議案審議	2～3
も	平成23年度決算認定	3～5
な	地域の課題をとりえて一般質問	5
内	総務文教常任委員会	6
容	産業厚生常任委員会	6～7
	サークル紹介	7
	議員研修会	7

幌延町（定例）議会が9月12日・13日の2日間で開催され、補正予算など6件の議案、幌延風力発電株式会社の経営報告など2件の報告。

平成23年度各会計決算の認定7件は特別委員会に付託され委員長に西澤裕之氏を選出し慎重に審議された。議決案件22件をすべて承認し閉会した。

行政報告

一般行政報告

高齢化、過疎化が進む西天北地域の5町（遠別、天塩、豊富、中川、幌延）は、新たな連携を目指し協議を重ねてきた。

去る8月30日、名称を『天塩の国会議』として首長会議を発足。今後は西天北五町衛生施設組合の他、産業観光、教育文化の振興や防災など相互援助の枠組みを作り、協定書を取り交わす事となる。

教育行政報告

中学校体育文化連盟等主催の宗谷地区学校陸上大会、



全道大会男子卓球個人戦の様子



全道大会陸上男子400mリレーのメンバー

南宗谷防犯球技大会、宗谷地区体育大会が開催され、それぞれの出場部門で健闘された。

北海道吹奏楽コンクール稚内地区予選のC編成の部に出場し、銀賞を受賞。

北海道主催の野鳥絵画展では、幌延小学校1年生、岸恵伍君が金賞を受賞。

▽報告第1号

「幌延風力発電株式会社」の経営状況報告について

23年度は計画売電量を5%上回る5万3千7百59メガワットと順調に稼働し、



野鳥絵画展金賞の岸恵伍君

損傷発生率の高い構造の発電軸受すべてを交換した。

9月の落雷事故により風車5基、変電所施設が損傷したが、全て補修作業を終え、現在は全基運転を再開している。

問 風力発電の稼働率はどの程度か。

答 年平均で29・23%の稼働率。

問 平成15年に購入した除雪機の更新の話は無いのか。

答 除雪機の更新計画は聞いていないので現在も使用していると認識している。

問 落雷事故は平成15年度を始めて過去3回も起きているが、何か対策は無いのか。

答 避雷針は設置しているが、その機能以上に強力な落雷で、自然災害と思われる。



利尻山と風車

- 問 風力発電会社から納入される税収の4分の1相当をふるさと創生基金に積み立てるといふ件はその後どうなったのか。
- 答 今後常任委員会などで報告する。
- 問 町の税収入となる地方消費税分は幾らか。
- 答 地方消費税の内訳は消費税5%の内1%が地方消費税交付金として交付される。その積算根拠は国勢調査の人口、事業所統計等の従業者数などによって交付される。
- 問 今日、再生エネルギーが注目されているが、町として更なる増設計画、又は他社からの参入計画は無いのか。
- 答 増設の計画はない。北

電では新規に3万kWの再生可能エネルギー買取を募集しており、他の業者が浜里地区での事業化を計画、応募している。

▽意見書

「森林・林業・木材産業施策の積極的な展開について」

森林は二酸化炭素の吸収源として期待が寄せられている。我が国は、化石燃料への依存度が高く、森林や木材が果たす役割がこれまで以上に重要となっている。しかし、長引く景気の低迷は、林業・木材業に深刻な影響をもたらしている。

このような中、森林を多面的に持続し、林業の安定的発展と活性化を図るためには、森林施業の集約化、路網の整備、人材の養成等を積極的に進めるとともに、道産材の利用促進等により、森林・林業の再生を図ることが重要である。

また、東日本大震災の復興を早期に図るため、必要な木材を安定的に供給することが必要である。

平成 23 年度 決算を認定

西澤裕之氏を決算特別委員長に選任し、2日間の審査の結果、原案通り可決されました。

一般会計・特別会計の決算額については10月号の“ほろのべの窓”でお知らせしておりますので質疑応答について掲載しております。

〈一般会計〉

◆歳出

【総務費】

（斉賀委員）職員研修まちづくり事業の内容は。

（古草主査）職員のスキルアップを目的とし、主査以下一般職員全てを含めた全体研修2回、グループ研修3回の計5回実施。委託先は、札幌のコムズワーク。

（斉賀委員）庁舎管理の光熱水費増額の要因は。

（古草主査）単価が上がった事と寒い時期が長かったため使用量が増えた。

（佐々木委員）公用車の入替でハイブリットカーが2台導入されているが、今後さらに進めていくのか。

（宮古主査）個々の効果はあるが、車の価格が高く24年度は普通のワゴン車を購入した。

（佐々木委員）町の中の街路灯整備を行っているが、現在白熱球を使っている。今後LED電球を使って、消費電力を下げて行く考えは。

（飯田主査）LEDの照明器具はまだ価格が高いのが現実で、状況を見ながら検討する。

（衛生費）燃料費などの単価が上がっているが公衆浴場管理費の需要額に不均衡が出たのはなぜか。

（藤井主査）水道・下水道代が減少したため。

（農林水産費）有害鳥獣の捕獲資格を取る勉強会を今後も続けてほしい。

（羽田主査）宗谷の猟友会と協議し進めていきたい。



町立診療所前に設置のLED街灯



町内で捕獲されたアライグマ

◆歳入

〔植村委員〕税金の未収が、財産収入、公営住宅、保育料でも発生しているが、原因と対策方法は。

〔瀬戸課長〕対策本部を作つて実施しているが、特効薬がなく、個別訪問、納めるための相談等を行つていて、毎月少額でも納付をしてもらっている。

◆総括

〔佐々木委員〕農地整備の国の予算付けが大変厳しいと聞いているが、事業への影響は。

〔桜井主幹〕予算は相当厳しいが、補正予算で対応している。

〔土木費〕

〔斉賀委員〕23年度は大雪等で除雪には大変な苦勞をされたと思う。町民からいろいろな声が聞かれたが、改善点は。

〔及川主査〕現状は委託先の判断で除雪を行っているが、町民の声を十分に聴いて、すぐ対応する様に検討している。

持った使われ方の検討は。

〔宮本町長〕酪農振興という事で農協からいろいろな構想が出てくるようなことも聞いている。積極的に協力したいと考えている。また新エネルギー関係では、太陽光発電設置の希望があれば助成を考えている。

〔斉賀委員〕電源三法交付金の中から以前町民に戻されていた8千100円を次年度戻されてはどうか。

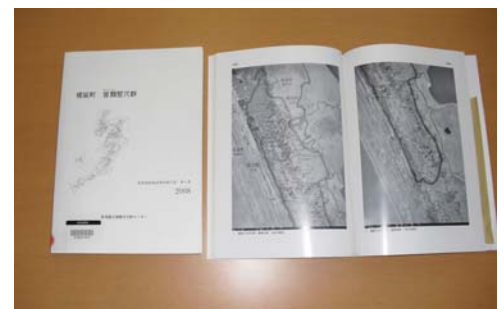
〔宮本町長〕今農業関係の方から大きな事業計画が出てくるようでもあり今のところ町民に戻すことは考えていない。

〔無量谷委員〕橋の修繕計画について、極度にひどい橋はあるのか。

〔及川主査〕架け替えが必要な橋はない。

〔吉原委員〕音類竪穴郡遺跡を今後どのようにするのか。

〔児教育長〕国立公園の中なので人が現地に入っていくことができない。学校の副読本の中で明記し、図書室の中で閲覧できる資料として活用していきたい。



音類竪穴遺跡調査報告書

〔野々村委員〕町民のニーズに答えられたか。また、町長として点数を付けたらどのくらいか。

〔宮本町長〕以前は予算の枠を決めてやっていたが、今はそれをやめ、必要なことは、すぐにやっていくという事で、一般会計40億を超える運営をしている。点数は自分で付けるものではないが、町民からは評価をいただいたと思っている。

〔鷺見委員〕地域担当者制度について一年経っても形が見えない。

〔宮本町長〕大変申し訳なく思っている。現職員数で進めることは難しい課題であると思っている。

〔特別会計〕

〔町立診療所特別会計〕

〔斉賀委員〕新しい施設となり、医療機器も新たに導入され、環境がどう変わったか。

また、看護師不足についてどう考えているのか。

〔岩川事務長〕新しい施設になり、CT装置、X線のテレビシステムも導入され、利用者の利便性が向上した。

また、こざくら荘と渡り廊下で繋がりが、行き来がしやすくなるなど、職員も執務しやすくなった。

看護師不足については、現在、募集している。

〔斉賀委員〕看護師不足対策として、奨学金を無償で貸してはどうか。

〔鈴木課長〕医療従事者に係る奨学金の貸し付けがあり、町内の施設に従事すれば免除となる。

〔吉原委員〕診療所になって、国からの交付税が減額されると聞いていたが、今後どのように推移していくのか。

〔瀬戸課長〕平成25年度までは経過措置として極端な減額は無い。

〈介護保険特別会計〉
 (佐々木委員) 保険給付費の
 不用額が発生しているが、
 (村上主査) 過去実績で予算
 の積算をしているが、デイ
 サービス、ショートステイ
 等の利用が当初より下回っ
 たため。
 (斉賀委員) 福祉の手帳が新
 しく作られていないのはな
 ぜか。
 (藤井主幹) 福祉の手帳は職
 員が手掛けて作成した物で、
 データが更新されていない。
 今後、データの更新をして
 いきたい。



新たに導入されたCTスキャン装置

地域の課題をとらえて 1氏が一般質問



見 悟 鷲

深地層研究センター について

質問 深地層研究センターの跡地利用について、具体的な構想やプランがあるのか。

町長 現在のところ、ない。質問 7月末に、札幌の団体の人が来た時、農業施設なども考えられると発言されているが。

町長 私の考えでは、三者協定に違反のならない形で使えることがあればと考える。

質問 協定書の4条4項に地上施設は閉鎖し、撤去する。地下施設は埋め戻すということになっている。

町長 違反にならない状況の中でやれることがあれば、その時点で考える話だ。

質問 地上施設は解体するとなっている。

町長 研究期間が8年ぐらいい残っており、その中で考える。

質問 平成19年12月10日に原子力機構からの回答文書で地下施設の埋め戻しと地

上施設の解体撤去により、閉鎖するということが書かれている。跡地利用を検討するなら、瑞浪市並みの跡地利用委員会を作って検討し、法的なものも含めてきちんと整理することが必要なのでは。

町長 協定書の中の意味合いと言うのは、幅広い部分もあると思う。あの施設が全て撤去ではないと思う。

質問 研究期間はおよそ20年間。その後解体撤去をするという書いている。

町長 「ゆめ地創館」などは廃止あるいは移管というように予定している。段階踏んでやっていくのが良い。

質問 「ゆめ地創館」の運営費は5千万円。一人あたり4千2百円くらいの経費になる。これ程税金の掛かっている施設は他に例がないと思うがどう思うか。

町長 施設としては大切な施設であると思う。

質問 深地層研究センター

の決算書がなかなか出てこないが、町長としてどう思うか。

町長 出来るだけ早く決算の公表をするように、原子力機構の方に要請している。

質問 今まで町長が言っていた地域振興・企業誘致とは何か。

町長 今は産総研・電中研・原研センターが入って来ている。

質問 これら三つの研究機関は資源エネルギー庁の基礎処分技術調査等委託費。このお金に基づいて一年間契約でやっている。地域振興、企業誘致とは別物だと思いが。

町長 この三つの他に地圏も入る。民間の企業誘致というのとは実現不可能というような状況。

質問 文科省からの深地層研究センター建設費で4百億円。資源エネルギー庁の調査委託費まで入れると相当額に上る。企業誘致と言うものは何年経ても出てこないのではないか。

町長 相当の経済効果が上がっている。地域振興に結び付くことは積極的に取り組んで行きたい。

常任委員会 報告

第4回総務文教常任委員会

平成24年8月31日

◎調査事項

(1)生涯学習センター床改修に伴う臨時休館について

平成23年4月供用開始後、床材の反り返り、剥離などの不具合が発生した。

平成23年12月、平成24年4月と2回にわたり部分的な貼り換えを行ったが、床材メーカーより床材の不具合について報告があり、全面的に貼り換えを行うこと



生涯学習センター施工状況

となった。

貼り換え工事については、床材メーカーにて行うこととしている。

工事の施工期間は平成24年9月15日から27日までとする。

問 施工業者に責任はないのか。

答 2年以内の瑕疵の範囲で、補修、手直しの形となり、ペナルティはない。

問 サークル等の対応はどう考えているのか。

答 事前に連絡してある。また、児童クラブにも影響しない日程を組んだ。



生涯学習センター床施工完了

第5回産業厚生常任委員会

平成24年7月31日

◎調査事項

(1)新規就農対策について

町としては、農業後継者が不足するなどの理由により新規就農者の受入が必要との意見・要望があることから、新規就農者の支援に関する条例の制定を検討することとした。

その概念を作成し、7月2日に農協との意見交換を行った。出された課題については、農協職員・町職員などで構成する作業チームを設け、検討していく。

問 就農研修の認定について、条例で定めるのか。

答 この条例は、あくまでも営農開始時に補助金等を出すものであり、研修の認定については、条例の前段として議論を進めたいと考えている。

問 農業にも色々あるが、この条例の範囲は。

答 酪農業に限定したいと考えている。

問 今は酪農に主体を置いていると理解するが、農業も時代と共に移り変わって

いく。幅広く適用する考えはないか。

答 経営形態の多様化については、提言事項として受け止める。

問 補助金の額についてはどう考えているのか。

答 天塩町や豊富町が参考になると考えている。

問 作業チームでしっかり議論をして、進めて貰いたい。

答 心配を持たれないように進めていく。

第6回産業厚生常任委員会

平成24年8月31日

◎調査事項

(1)トナカイ観光牧場について

て

平成23年度の経営状況や、集客に係る取り組み等について、調査をした。

入場者は4万9千7百14人。収入は、委託料1千7百6万円。エサ販売25万8千円。花販売43万2千円。

トナカイ貸出し110万円。支出は、総額で1千9百14万1千円。経常損益で20万9千円のマイナスとなっている。

集客の取り組みは、ブルーポピーを長い期間鑑賞できるように、開花調整の研究を進めている。

秋の収穫祭イベントは、悪天候のため中止となったが、冬のスノーモービルを使用したイベントを2回開催している。

PR等については、稚内利尻礼文サロベツ観光振興協議会として、道内外にPR活動を行った。

問 平成20年度に改善計画を立て、入場料無料化を図った。集客に関しては成果があったと考えるが、収入に結びついていない。更なる改善が必要と考えるがどうか。

答 エサの販売が思っていたよりも伸びていない。花の販売は、インターネットを通じて少しずつ増えているが、難しい状況である。来年度には、この厳しい状況の中でどうしていくか、結論を出さなければと考えている。

(2)ブルーポピーの開花調整について

道の補助金を活用し、



氷室の中のブルーポピーの苗



氷室の外観

2ヶ年に渡り調査研究をしてきた。苗の貯蔵に関しては氷室の中を氷ではなく、雪を活用した方が成績が良かった。来年度以降は、株の数を増やし、8月下旬位までブルーポピーを鑑賞できるようにしたいと考えている。

Q. 活動について。
A. 現在会員43名で会員相互の交流と親睦を図りシーズン中は8回程度の



会長
菅原 利彦

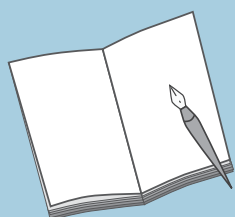
『幌延町パーク ゴルフ協会』 サークル紹介

大会を開催しております。パークゴルフは老若男女問わず気楽に出来るスポーツとして今や全国的に愛好されており、特に幌延町のコースは維持管理も素晴らしく他からの利用者も多く、グリーンでの爽快なショット、集中してのパットは生涯スポーツとして会員一同大いに楽しみ健康をモットーに活動しています。



パークゴルフ大会の様子

「会長さんから一言」
夏季はスポーツ公園で、冬季は体育館内でプレーが出来ます。皆様の入会をお待ちしております。



編集委員長	西澤 裕之
副編集委員長	佐々木忠光
編集委員	植村 敦
無量谷 隆	

議会の動き

- 5月18日▶各種期成会総会(名寄市)
- 5月23日▶管内議員研修会(幌延町)
- 5月28日～30日▶第37回町村議会議長・副議長研修会(東京都)
- 6月1日▶第6回議会運営委員会
第4回産業厚生常任委員会
第3回全員協議会
- 6月5日～6日▶北海道町村議会議長定期総会(札幌市)
- 6月11日▶第7回議会運営委員会
- 6月14日▶第3回定例会
- 6月17日▶名寄駐屯地59周年記念行事(名寄市)
- 6月22日▶第8回議会運営委員会
第27回議会報発行特別委員会
- 6月29日▶サンルダム天塩川流域大会(名寄市)
- 7月3日～4日▶全道議員研修会(札幌市)
- 7月5日▶第28回議会報発行特別委員会
- 7月11日～13日▶各種期成会中央要望(東京都)
- 7月17日▶第29回議会報発行特別委員会
- 7月31日▶第5回産業厚生常任委員会
- 8月22日～23日▶議会報研修会(札幌市)
- 8月31日▶第9回議会運営委員会
第4回総務文教常任委員会
第6回産業厚生常任委員会
第3回全員協議会
- 9月10日▶第10回議会運営委員会
- 9月12日～13日▶第4回定例会

